

基本理念

小奴可の里を愛し
自然を愛する心を育て
地域資源を活かし
思いやりにあふれ
健康を増進し
暮らしやすい地域を
めざします。



県天然記念物 千鳥別尺のヤマザクラ



計画の要点

① 安心・安全な地域づくり

小奴可の里地域の人々が助け合い、支え合いながら、安心して暮らせる地域を実現しましょう。

② 地域の医療・福祉対策

姫りんごなどの福祉施設の利用や、楽しく効果的な機会を設けて健康づくりにつなげます。

③ 地域の交通対策

道路改良や利用しやすい公共交通の確保のため、これからも関係機関への要望を続けます。

④ 地域の資源を生かし、地域の産業を考える

休耕地の活用など小奴可の里地域に眠る未発見の魅力を見つけて活性化につなげます。

⑤ ふれあいの場づくり

仲間づくりや生きがいづくりに交流の輪を広げます。

⑥ 地域の歴史・伝統文化を継承する

地域の人々が守り伝えてきた伝統芸能や、日頃の暮らしから生み出された知恵や技術を、財産として後世に伝えます。

⑦ 小奴可の里に来る人、住む人をふやす

小奴可の里地域に関心を寄せ、訪れ、暮らす人々を増やせるように地域の魅力を高めて活性化につなげます。

⑧ 小奴可の里の自然を守りながら活かす

私たちが育む豊かな自然に敬意を払い、守り、活かします。

小奴可の里 地域

① 小奴可の里自治振興区内の自治会

小奴可自治会・加谷自治会・内堀自治会・塩原自治会・千鳥自治会・小串自治会

② 小奴可の里自治振興区内の人口・世帯数

1000人、457世帯

③ 大字ごとの人口・世帯数

小奴可 (412人・200世帯)、加谷 (102人・39世帯)、内堀 (207人・90世帯)、塩原 (104人・42世帯)、千鳥 (112人・52世帯)、小串 (63人・34世帯)



令和5 (2023) 年2月末現在



みんなの元気で地域をつくる
小奴可の里



第3期 小奴可の里自治振興区 地域振興計画



県天然記念物 小奴可の要害桜

庄原市内では22の自治振興区が地域振興計画をもとに多様な活動をしています。小奴可の里自治振興区は平成23年4月に小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串の自治振興区が一つにまとまって設立されました。その時に第1期計画を、平成29年には第2期計画を作りました。この計画はおおむね5年をめぐりに見直しすることになっていますが、第3期の計画は、これまでの課題を踏まえながら、各自治会で取り組みやすい目標や、専門部による運営など考えることにして、それぞれの自治会から3名、合計18名の委員でまとめました。この計画をもとに皆さんと知恵を出し合いながら、力を合わせて心豊かな暮らしができる地域づくりを進めてまいりましょう。

小奴可の里自治振興区

住所 〒729-5502 庄原市東城町内堀1100-1 庄原市小奴可自治振興センター内

電話 08477-5-0057(FAX兼)

E-mail onuka@vesta.ocn.ne.jp

ホームページ onukanosato.jp

facebook onukanosato



facebook

令和5年3月

1

安心・安全な地域づくり

小奴可の里地域の人々が助け合い、支え合いながら、安心して暮らせる地域を実現しましょう。



- ① 自主防災組織の充実、地域（自治会）相互の防災連携、防災マップ作成、防災連絡網の整備や地域ごとの防災資機材を整備して適切な運用を図ります。
- ② 日頃から地域の見守り・声かけ活動の仕組みをつくりまします。

2

地域の医療・福祉対策

姫りんごなどの福祉施設の利用や、楽しく効果的な機会を設けて健康づくりにつなげます。



- ① シルバーリハビリ体操など健康体操の普及、健康に役立つ行事や料理教室などで健康寿命を延ばせるようにします。
- ② 小奴可と内堀で続く西城市民病院の移動診療のために、施設の快適な環境の維持、改善を市役所東城支所などに働きかけます。

3

地域の交通対策

道路改良や利用しやすい公共交通のため、これからも関係機関への要望を続けます。



- ① 小奴可の里県道改良促進委員会と協調して県道改良の取り組みを進めます。
- ② 公共交通の利用しやすさを確保できるように要望を続けます。

4

地域の資源を生かし、地域の産業を考える

休耕地の活用など小奴可の里地域に眠る未発見の魅力を見つけて活性化につなげます。



- ① 小奴可の里農産加工部のみそづくりを進めながら、新しい特産品づくりに努めます。
- ② 「小奴可の里お宝ガイドブック」の活用や、気づかなかったお宝スポットをもっと見つけてホームページなどで情報発信します。

みんなで取組んでいく項目です



小奴可の里自治振興区

5

ふれあいの場づくり

仲間づくりや生きがいづくりに交流の輪を広げます。



- ① サロン活動やサークル活動の輪を広げる取り組みを進めます。
- ② 世代間のふれあいの機会を増やせるように行事は柔軟に見直します。
- ③ 学校跡地の活用が図られるよう検討します。

6

地域の歴史・伝統文化を継承する

地域の人々が守り伝えてきた伝統芸能や、日頃の暮らしから生み出された知恵や技術を、財産として後世に伝えます。



- ① 塩原の大山供養田植をはじめ、地域に残る伝統芸能の継承に努めます。
- ② しめ飾りやわら細工などの知恵や技術を後世に伝えます。
- ③ 郷土料理、地域の食文化、歴史史跡や地域に伝わる民話を保存し継承します。

7

小奴可の里に来る人、住む人をふやす

小奴可の里地域に関心を寄せ、訪れ、暮らす人々を増やせるように地域の魅力を高めて活性化につなげます。



- ① 定住希望のかた向けに小奴可の里地域の情報提供を進めます。
- ② 市の推進する農家民泊に取り組みます。
- ③ 小奴可小学校、小奴可こども園など、学校や施設と協力しながら小奴可の里地域内の子育て環境を支援します。

8

小奴可の里の自然を守りながら活かす

私たちが育む豊かな自然に敬意を払い、守り、活かします。



- ① 小奴可の要害桜と千鳥別尺のヤマザクラの保全に努め、次世代に引き継ぐ活動をします。
- ② 一年を通して幅広い世代が自然に親しめるようにします。
- ③ 収集場所などの整備や環境美化の意識を高めることで不法投棄を防ぎます。